



【内部資料】発行責任者
佐藤せい子を育てる会
会長 坪井英明

せい子通信



あなたの声を届けます！市議会議員は地域づくりのレポーター

2016年 夏号 vol.53

6月定例議会が終了して、あっという間の1ヵ月。梅雨も明け、暑い日が続いています。本当にこの頃の暑さは尋常ではありませんよね。体調を崩したりしないようお気を付けくださいね。



先の参議院選挙。結果には憤懣やるかたない！の気持ちでした。今後、何としても平和憲法は守らねばならないと思っています。憲法草案者の1人、当時24歳だったベアテ・シロタ・ゴードンさん(アメリカ人)から直接聞いた話を次号で紹介させていただきます。

事業推進本部との違いと設置目的は何か？

6月議会

この1年間、監査という役割でしたので、本会議での質問をしませんでした。前回の通信でもお伝えしましたが、物事を大局的に捉える事や他との関係性についても“見る目”が必要である事を監査と言う役割を担っていく中で知らされました。さて今回の質問、大項目『第3次総合計画の推進について』です。“静岡市のまちづくり”は、どこを目指し、何を実行していこうとしているのか。最大の目標は、「2025年に総人口70万人の維持」であり、「歴史・文化のまち」「健康・長寿のまち」を掲げ、静岡市の持つ長所を活かし『世界に輝く静岡』を目指しているのです。その為に、田辺市長は、市政運営のシステムのあり方が重要と述べ、限られた期限とマンパワーで、最大限の効果を生み出す行政運営体制が必要と機構改正を行いました。

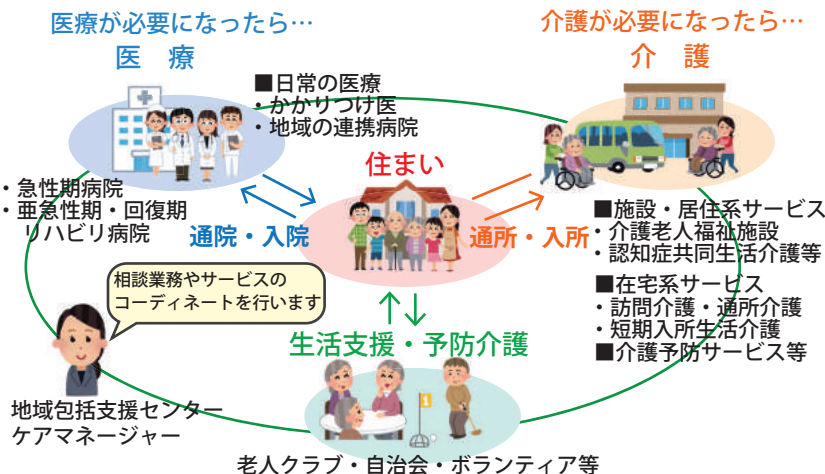


事業推進本部との違いと設置目的は何か？

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて、静岡型の地域包括ケアシステムを構築し強力に推進するため、局長級の統括監を配置し、担当部署として部相当の推進本部を新設した。地域活性化事業推進本部との違いは、所管が一つである事だ。活性化推進本部は各部署の集合体でありプロジェクト形式で事業を推進していたことが大きな違いで、名称は似ているが中身は大きく異なる。

『組織は政策に従う』の考えの下、戦略広報監・政策推進統括監・健康長寿統括監が配置された。又、地域包括ケア推進本部も新設された。かつて設置された地域活性化

【地域包括ケアシステムとは…】



地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域（具体的には中学校区）を単位として想定

“組織は政策に従う”の言葉から連鎖した私の思いを伝えたいとの思いで質問しました。特に、政策提示の過程・経緯が見えない政策、又は、唐突とも言える提示について伺いたいと思っての質問です。市立大学構想やスケートボード場設置。賑わい創出のためのLRTの検討。天守閣建設への道のりなどなど。何故進められないのか、何故出来ないのか。政策遂行のための説明責任があるのではないかと。アカウンタビリティが必要！の思いでした。意見要望の域から出ないのがいつも感じる歯がゆさですが、言い続けることが大切と思っています。次回は、今回保留した「教育環境の充実について・県からの権限移譲」をしっかりと質問したいと思っております。

常任委員会

今年度は市民環境教育委員会の委員を務めています。



小中一貫教育準備事業について (平成34年度の小中一貫教育の全校実施を 目指した教育カリキュラム)

文部科学省のモデル事業として平成30年度までの3年間で、教育カリキュラムを作成するとの事だが、平成34年度までに、全校小中一貫を実施していくことについての保護者や地域、関係者への説明は大丈夫なのか？

小中一貫教育のメリットとして、子どものつまずきの原因でもある「中1ギャップ」の解消が見込まれることなどを保護者へ丁寧に説明している。また、リーダーへの意識醸成などの質問にお答えし、理解を広げている。

小中一貫教育を実施する「義務教育学校」とは何か？また、静岡市の今後の方針はどうか。

2016年度から小中一貫教育を実施する「義務教育学校」が創設されることになった。現在「6・3制」となっている学年の区切りは、「4・3・2制」や「5・4制」など多様な区切りが可能となる。また小中は組織として一体化され、校長は一人だけとなる。さらに将来的には教員は小中学校両方の免許状を持っていることが必要となる。現在、193校がすでに義務教育学校として教育を行っているが、静岡市は、義務教育学校ではなく、小中一貫教育を平成34年までに整えていく。

まだまだ保護者への説明が不足している。なぜ義務教育学校ではないのか、その選択の経緯を説明してほしい。またもっと詳しく施設老朽化や少子化との関連性についても説明し、社会の変化との整合性も説明すべきではないか。

参議院議員選挙終了 ひらやま佐知子さん当選

ご支援をお願いさせていただいた一人として、本当に良かったと思っています。それにしても全国の結果には、落胆してしまいました。日本がこんな危機的な状況なのに…。物言わせない国になりはしないかと不安ではありませんか？



特に、若者の保守志向が強まっているというのです。今回、18歳以上に選挙権が与えられましたが、18・19歳の投票先の調査がそれを物語っているとの事です。これからの日本大丈夫でしょうか？日本を守るといふ事はどういうことでしょうか？努力した者が報われないこの格差社会をどのように是正していけるのでしょうか？課題満載の今。期待すること大です。

常葉学園橘高等学校生 とのミーティング



今回の初投票の感想や静岡市の現状をどう思っているか等を聞きました。かなりしっかりとした意見もあり感心させられました。

高等学校応援団フェスティバル

今年で5回目を数える応援団フェスティバル。私のお友達を見ると元気になるので毎年見に来ているとのこと！今年も気合が入っていましたね。



9月議会
予定

- 8/31 議案説明会
- 9/8 本会議
- 9/16・20・21 本会議 (総括質問)
- 9/26～29 常任委員会
- 10/12 本会議



皆さん！夏の猛暑に気を付けながら、楽しい思い出をたくさん作ってくださいね！

佐藤せい子



〒422-8008 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL: 054-267-2000 FAX: 054-267-2001
ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sseiko1022>
ホームページ satoseiko.com
メール sseiko@nifty.com